

見どころ案内

江戸と東京の中心の橋

!! 日本橋 (国指定重要文化財) (日本橋1~日本橋室町1)

橋ができた年は諸説あるが、1603年につくられ、おもな街道の起点になったという説が有力だ。道路の起点としての印「日本国道路元標」が、橋の中央にはめこまれている。現在の橋は1911年にかけられた石の橋だ。

江戸時代にかけてられた日本橋を中心に、歴史と伝統が感じられる見どころが多い。国宝級のすばらしい建造物がある。



橋のもとにある日本国道路元標のレプリカ。



川から見ると橋はどう見えるのかしら？



(左) 日本橋川をめぐる観光船が運航中。(右) 獅子が前足をかけているのは東京市(現・東京都)の紋章だ。



ネオバロック建築がカッコイイ、日本一の銀行を見にいこう

本館のほか新館、分館もあるよ。



!! 日本銀行本店 (国指定重要文化財) (日本橋本石町2-1-1)



日本銀行本店の本館は1896年に建てられた。ドームや柱はバロック様式。窓はルネサンス様式。石積みれんがづくりの建物だ。

(右) 昔の銀行窓口。天井が高い!
(下) 2004年までつかわれていた旧地下金庫。扉はアメリカ製で15t!



時代劇に出てきそうなものがいっぱい

!! 小津史料館 (日本橋本町3-6-2)

17世紀半ばに創業した和紙問屋小津家に伝わる品々が展示されている。江戸時代の帳簿など、和紙に墨で書かれた文字は300年後の今も消えずに残っている。



本物の千両箱! かぎ穴があるわ。



分厚いノート! 商売の会計帳だね。



重厚な三井本館の7階にある

!! 三井記念美術館

(日本橋室町2-1-1)

越後屋(現・三越)の経営者、三井家が収集した美術工芸品を展示。入り口になっている三井本館は昭和初期に建てられた国指定重要文化財。写真真右の展示室は、元三井銀行の重役の食堂だった。



たづめる方



志らする方

迷子情報をはりつけた柱

!! 一石橋迷子しらせ石標 (八重洲1-11先)

1857年に建てられた迷子の情報を知らせるための柱。この辺りは日本橋魚河岸の人ごみで迷子が多かったようだ。柱の左側は「たづめる方」で迷子をたづねる紙を、右側は「志らする方」で見つかった迷子を知らせる紙をはった。

2時間おきに時を教えた 石町時の鐘 鐘撞堂跡

時計のなかった江戸時代。2代将軍徳川秀忠の時代に、町の人々に時を知らせる大きな鐘が石町(のちの本石町)現・日本橋室町四丁目→p.148)につくられ、約2時間おきに鐘を鳴らしていた。1711年につくりなおされた鐘が、現在、日本橋小伝馬町の十思公園に保存されている。

鐘をつく役目は、本石町三丁目にいた辻源七が仕切っており、鐘の間こえる町から鐘役銭をもらっていた。鐘の音が聞こえない地域があったので、のちに浅草、上野、市ヶ谷八幡、本所横川町、自白不動などにもつくられた。

お宝いっぱい、発見もいっぱい

!! 風の博物館 (日本橋1-12-10)

洋食店たいめいけんの5階にある。江戸時代の浮世絵風の風から現代のもの、外国のめずらしい風が400点ほど展示してあり、見ごたえ十分。



お金のことがよくわかる

!! 貨幣博物館 (日本橋本石町1-3-1)

日本ではじめてつくられた貨幣、大判・小判、明治期のお札や海外のお金を展示している。お金の歴史、にせ札を防ぐためのくふうも解説されている。



(下) 708年発行の和同開珎。
(右上) 18世紀の銀貨で8枚で小判1枚の価値がある。(右下) 明治時代のはじめての十円札。

